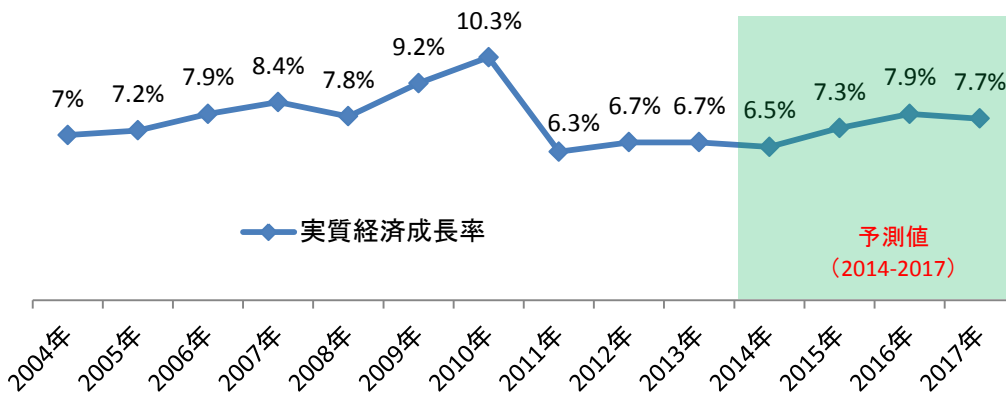


## ザンビア投資関連情報 (製造業)

### 1 マクロ経済概況

過去10年間のザンビアのマクロ経済見通しは良好で、2004年から2013年までの期間の平均経済成長率は7.8%超を記録した。2014年の経済成長率は6.5%に到達する見込みであり、経済成長は引き続き維持されるものと予測されている。

図1: 経済成長率(2004年—2017年)



(出典 : CSO Data)

ザンビアの経済成長は、銅を主とする一次産品の需要によってけん引されている。製品の原材料となる鉱物や農産物等の一次産品に比較優位があるにもかかわらず、ザンビアは、一次産品の付加価値の最大化に失敗している。

したがって、製造業は、ザンビア政府が民間投資を介して発展を試みている優先分野であり、ザンビア政府の政策においては、「一次産品の採掘に依存する経済」から、「一次産品に対する付加価値を促進する経済」への構造変化に焦点が置かれている。

#### (1) ビジネス環境の奨励

ザンビアは、事業設立や建設許可取得、資金調達、納税などをより容易にすることにより、ビジネス環境の改善をすすめている。こうした取組にもかかわらず、世界銀行が毎年編纂している「ビジネス環境指数」ランキングの2015年版において、ザンビアの順位は、183か国中、前年(2014年)の107位から111位となり、前年から順位を4つ下げた。さらに、表1が示すよ

うに、電力のアクセス、不動産の登記及び貿易のしにくさは、ザンビアでビジネスをするうえでの最も大きな制約となっている。

表1：ザンビアの「ビジネス環境指数」ランキング，2014年・2015年

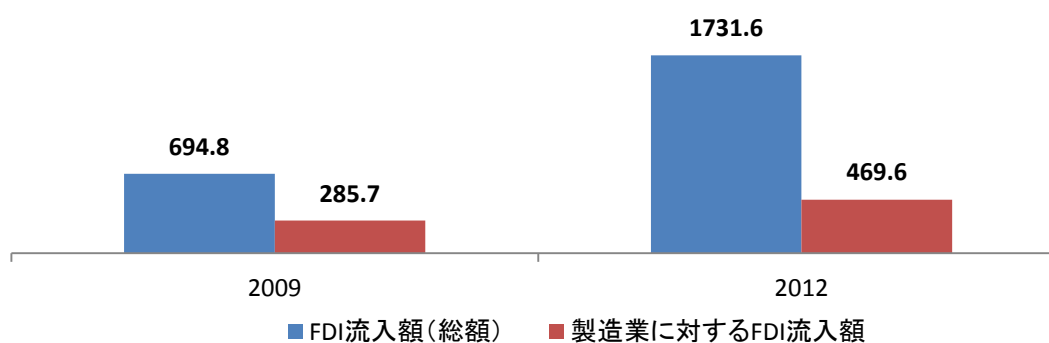
| トピック        | 2015年順位 | 2014年順位 | 順位の変動 |
|-------------|---------|---------|-------|
| 事業設立のしやすさ   | 68      | 72      | ↑4    |
| 建設許可取得のしやすさ | 99      | 102     | ↑3    |
| 電力アクセスのしやすさ | 126     | 126     | 変動なし  |
| 不動産登記のしやすさ  | 152     | 106     | ↓-46  |
| 資金調達のしやすさ   | 23      | 30      | ↑7    |
| 投資家保護       | 83      | 81      | ↓-2   |
| 納税のしやすさ     | 78      | 80      | ↑2    |
| 貿易のしやすさ     | 177     | 177     | 変動なし  |
| 契約執行のしやすさ   | 98      | 98      | 変動なし  |
| 破綻処理のしやすさ   | 95      | 95      | 変動なし  |
| 総合順位        | 111     | 107     | ↓-4   |

(出典：World Bank)

## (2) 外国直接投資 (FDI) の急増

ザンビアの外国直接投資 (FDI) の状況は良好である。2012年の製造業に対するFDI流入額は、総額の27.1%にあたる4億6960万米ドルという額を記録し、セクター別に見ると、鉱業に次いで高い数値である。なお、2012年の製造業に対するFDI流入額は、2009年比64%増となっており、ザンビアの製造業のビジネスチャンスに対する投資家の信頼が高まっていることを象徴している。

図2：FDI流入額(百万米ドル)



(出典：BOZ, ZDA, CSO Data)

### (3) 安定的な政治情勢

ザンビアは新興民主主義国であり、平和的でかつ政治的に安定している。ザンビアは、2014年の「世界平和度指数」ランキングにおいて、世界で44番目に安全な国と順位付けされたことが示すように、平和的で政治的に安定したモデル国として国際的に認知されている。

## 2 製造業発展のための政策、戦略、国家計画

### (1) ビジョン2030

ビジョン2030の包括的目標は、ザンビアが2030年までに経済的に繁栄した中所得国になること、及び、一次産品依存の経済から製造業主導型経済へと構造転換することである。

### (2) 改訂第6次国家開発計画（R-SNDP）

R-SNDPは、2013年から2016年を対象期間とするザンビアの中期的な開発計画である。R-SNDP内での製造業にかかる目標は、産業基盤の拡大ならびに一次産品の付加価値の増加を通じ、民間セクターの参加促進である。また、競争力のある零細中小企業（MSMEs）及び農村部に拠点を置く企業の成長促進も目標である。

### (3) 商業貿易産業（CTI）政策

同政策の全体的な目標は、2015年までに競争力があり、輸出主導型の製造業を発展させ、製造業がGDPの2割を構成することである。同政策では、食品加工、衣類・織物製品、工業製品、宝石類、皮革・皮革製品、木材・木材製品が優先分野として指定されており、ザンビア政府は、生産性の改善、輸出収入の獲得、雇用機会の創出をめざし、同優先分野での民間セクターの活動を支援している。

### (4) 産業化及び雇用創出戦略

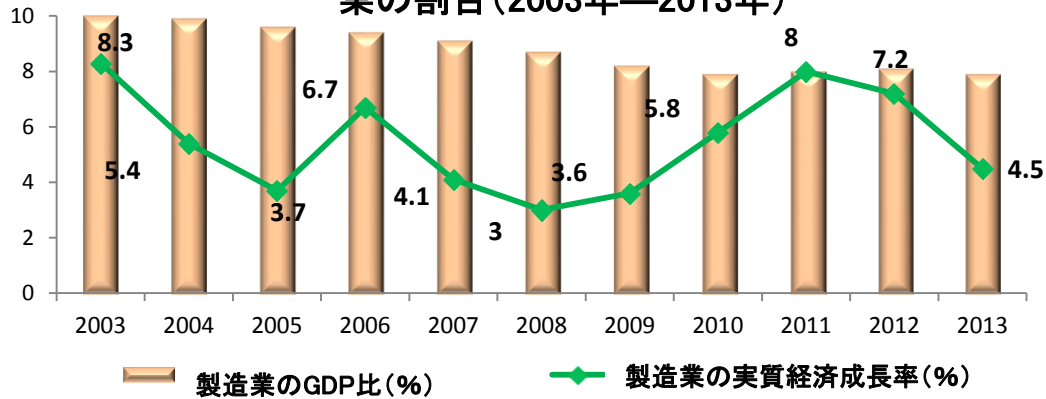
ザンビア政府の目標は、2012年から2016年までの期間に100万人の雇用を創出することであり、うち8万9000人分の雇用が製造業において創出される見込みである。同戦略を履行するうえで推定されるコスト総額のうち、45%は官民パートナーシップ（PPP）から、4%は海外直接投資及び国内からの投資により拠出される。

## 3 製造業の発展

図3に示されているように、過去10年間、GDPに占める製造業の割合は横ばいであり、2013年の割合は2003年比2.1%減の7.9%に減じた。また、製造業の成長率はこちら数年間、きわめて不安定であり、世界的な金

融危機が発生した2008年には成長率が著しく低下した。

図3: 製造業の実質経済成長率及びGDPに占める製造業の割合(2003年—2013年)

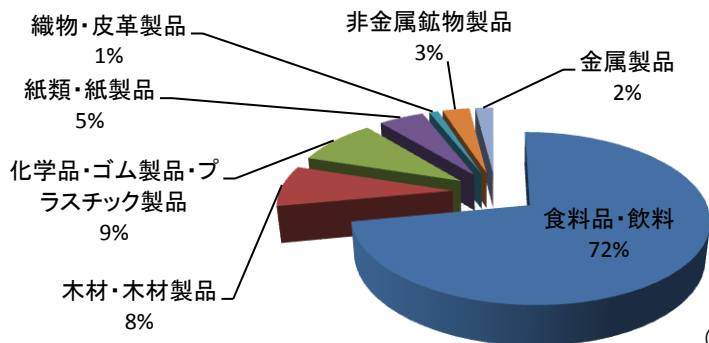


(出典: CSO Data)

#### (1) 製造業の内訳

食料品・飲料は、製造業において最大の割合である72%を構成している。一方、織物・皮革製品が製造業全体に占める割合は1%、金属製品の割合は2%と、ごくわずかにとどまっている。

図4: 製造業の内訳(2013年)



(出典: Ministry of Finance[2014])

#### (2) 各業種の動向

2008年から2012年の期間にわたり平均10%以上もの成長率を達成しているのは、紙類・紙製品(18.2%)と非金属鉱物製品(12.6%)である。対照的に、織物・皮革製品の業績は著しく悪く(-30.3%)、アジアや南アフリカから流入する安価な衣料品の競争力に劣っている点が起因している。

表 2 : GDP に占める各業種の割合の変化 (% , [基準年価格 = 1994 年])

| 業種              | 2008<br>年 | 2009 年 | 2010 年 | 2011 年 | 2012 年 | 期間平均  |
|-----------------|-----------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 食料品, 飲料・タバコ     | 3         | 4.9    | 7.4    | 9.3    | 7.1    | 6.3   |
| 織物・皮革製品         | -23.6     | -20    | -56.8  | -54.7  | 3.5    | -30.3 |
| 木材・木材製品         | 12.1      | 2.6    | 13.4   | 6.1    | 4.3    | 7.7   |
| 紙類・紙製品          | 29.3      | 6.2    | 22.7   | 18.5   | 14.1   | 18.2  |
| 化学品・ゴム・プラスチック製品 | 5.2       | -0.3   | 2.7    | 7.2    | 10.1   | 5.0   |
| 非金属鉱物製品         | 5         | 11.7   | 13     | 25     | 8.1    | 12.6  |
| 一次金属製品          | 23        | -4.8   | -2     | -0.9   | 13.9   | 5.8   |
| 金属製品            | -2.5      | -3.4   | 12.8   | 16.6   | -3.7   | 4.0   |

(出典 : CSO Data)

#### 4 製造業への投資機会

##### (1) 鉱物加工

2013年, ザンビアは79万トンの銅を産出しており, 銅の産出量は, 北西部州の鉱山への新たな投資も相まって, 2017年までに100万トンを超えると予測されている。それゆえ, 銅線, 銅板, 管類, 銅棒, 銅ケーブルの製造に対する投資機会が存在する。さらに, 宝石用原石もザンビアに存在しており, 宝石の製造に加え, カuttingや研磨の機会も存在する。

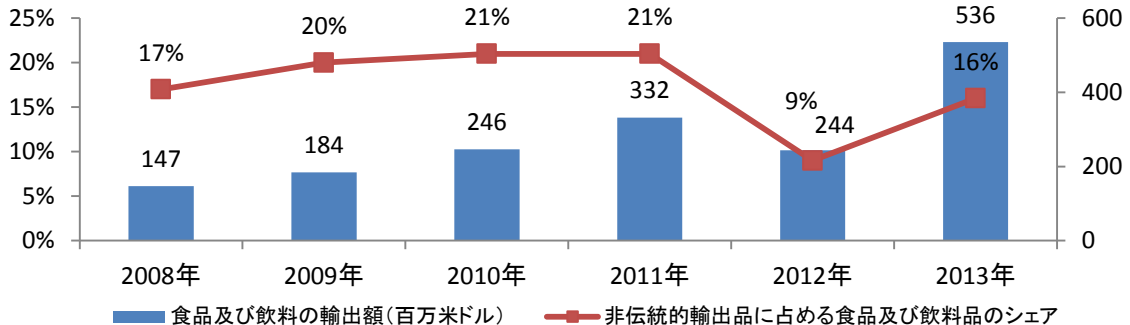
##### (2) 食品加工および飲料

食品加工の投資機会は以下の分野に存在する。なお, 2008年から, ザンビアの加工食品及び飲料の輸出は増加しており, 同分野のすき間市場が存在していることを示している。

- (ア) 油種子の栽培及び加工
- (イ) 牛肉, 豚肉などの畜産物の冷凍肉や缶詰食品への加工
- (ウ) 水産物の缶詰食品への加工
- (エ) ビスケットや缶詰食品, ジャムやチーズ等の食品加工
- (オ) 砂糖の生産
- (カ) メイズやその他穀物の製粉
- (キ) 炭酸飲料やビールの生産
- (ク) 果物の缶詰や果汁飲料の抽出
- (ケ) バイオディーゼルおよびエタノール生産
- (コ) 蜂蜜加工
- (サ) ピーナッツバターを生産

(シ) 家畜用飼料の生産

図5: 食料品・飲料の輸出額(百万米ドル)



(出典: BoZ 及び CSO Data)

(3) 織物、衣類及び皮革製品

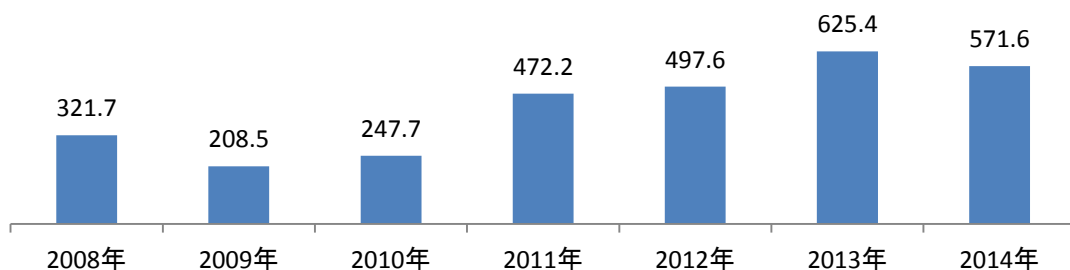
織物産業への投資機会は、製造業保税スキーム (MUBS) および複合的経済特区 (MFEZ) を通じ存在している。綿花はザンビア国内で栽培されており、綿糸及び綿布の生産機会が存在する。織物製品の既存のマーケットとしては、EU、南アフリカ、モーリシャス及びアフリカ成長機会法 (AGOA) 下での米国が挙げられる。

(4) 工業製品及び電化製品の生産

ザンビアの電化製品の輸入は、過去3年間にわたり増加しており、冷蔵庫やエアコン、コンピューターや変圧器やテレビ、暖房器具や扇風機といった電化製品の国内生産の機会が存在する。

さらに、建設業や鉱業セクターで用いられる機械の交換部品を生産する機会や、銅や鉄鋼、コバルト等の鉱物を、窓枠や扉、屋根板の素材、ナットやボルトなどの中間工業製品ならびに最終工業製品へと加工する機会も存在する。

図6: 電子機器・関連部品等の輸入(百万米ドル)



(出典: CSO Data ※2014年は1月から10月のみのデータを参照)

#### (5) 化学品の生産

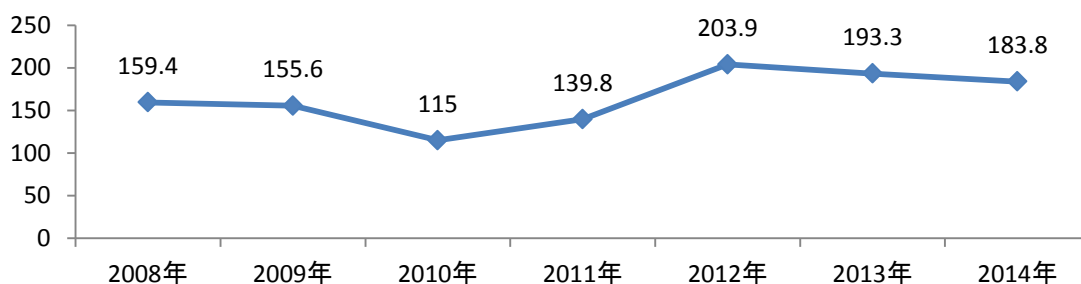
肥料の国内生産は限られており、国有企業の Nitrogen Chemicals of Zambia や少数の業者に依存している。肥料の大部分は輸入されており、2013年には約3億8290万米ドル相当の肥料が輸入された。それゆえ、肥料やその他の化学製品の国内需要がすでに存在している。

ザンビアには泥炭や石灰岩などの鉱物も存在しており、肥料生産用のための土壌改良剤やリン酸肥料を生産する機会も存在する。

#### (6) 医薬品の生産

2013年、ザンビアは1億9300万米ドル相当の医薬品を輸入しており、2014年の輸入額は前年の額を超えると予測されている。

図7: 医薬品の年間輸入額(百万米ドル)



(出典: CSO Data ※2014年は1月から10月のみのデータを参照)

### 5 利点, 弱点, 投資上の機会及びリスク

#### (1) 利点

加工用鉱山資源が豊富に存在すること(銅の産出量は世界第8位, そのほか宝石用原石や鉄, ウラン, マンガン, 石炭が存在), 原材料としての農産物の利用可能性(南部アフリカの40%の水資源, 4200万ヘクタールの農耕地が存在), ザンビア政府の支援(ザンビア開発庁法[ZDA法]の下, 複合的経済特区や工業団地, 優先セクターや農村部の企業の投資に少なくとも50万米ドルを投資する投資家に対して, 金銭的および非金銭的インセンティブを提供)<sup>1</sup>, 労働生産性の向上

#### (2) 弱点

燃料を主とするエネルギーの高コスト(表3参照), 信頼性を欠くエネルギー

<sup>1</sup> さらに, ZDA法のもとで優先分野とみなされていないセクターあるいは製品に少なくとも25万米ドルを投資する投資家に対しても, リストにある非金銭的インセンティブが付与される。

供給（カリバ・ノース・バンク拡張プロジェクトなど新たな発電所への投資により、電力発電は増加すると予測）、貧弱な労働力の質やスキル、原材料にかかる高い輸入税

表3：南部アフリカ諸国のディーゼル価格（1リットルの価格 [米ドル]）

| 国名     | 2006年 | 2008年 | 2010年 | 2012年 |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| マラウイ   | 1.12  | 1.67  | 1.54  | 1.9   |
| ザンビア   | 1.22  | 1.61  | 1.52  | 1.48  |
| 南アフリカ  | 0.84  | 0.95  | 1.14  | 1.42  |
| ジンバブエ  | データ不明 | 1.05  | 1.15  | 1.4   |
| スワジランド | 0.85  | 0.93  | 1.1   | 1.34  |
| ナミビア   | 0.87  | 0.88  | 1.09  | 1.31  |
| ボツワナ   | 0.74  | 1.02  | 0.97  | 1.25  |

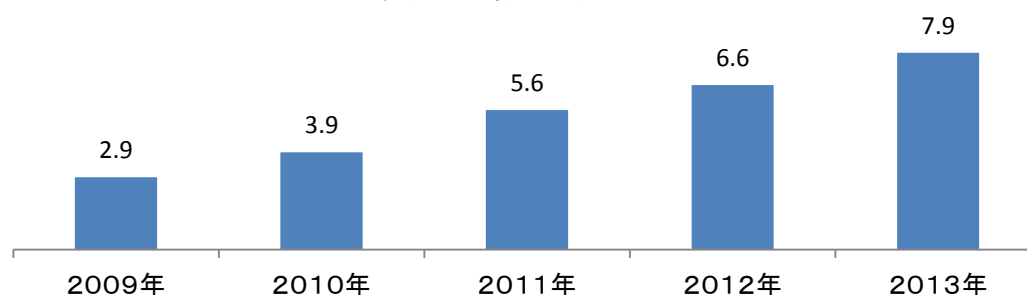
（出典：World Bank, World Development Indicators）

### （3）投資機会の例

#### （ア）工業製品に対する国内需要

ザンビアの一人あたりの所得が970米ドルから1350米ドルに増加したことを受け、ザンビアは低所得国から下位中所得国に仲間入りした。これは、ザンビアにおける中産階級の出現および同国の顧客基盤の購買力の増加を示唆している。

図8：工業製品の輸入額（10億米ドル）



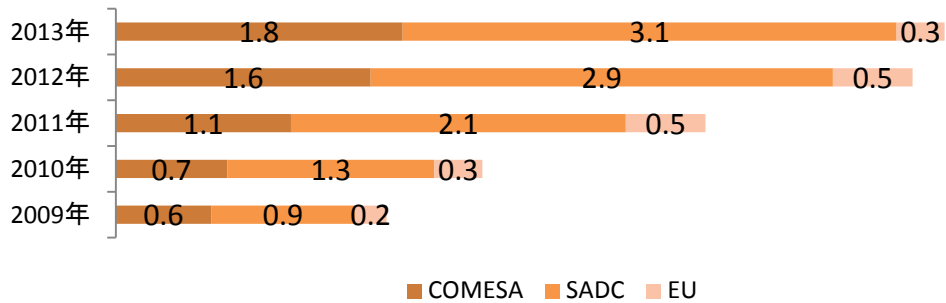
（出典：CSO Data）

#### （イ）域内市場ならびに国際的な市場への特恵的なアクセス

ザンビアは、地域経済共同体などを介した大規模な輸出マーケットへのアクセスがある。2013年のザンビアの対 SADC 輸出は31億米ドル、対 COMESA 輸出額は18億米ドルを記録した。



図9: 対COMESA/SADC/EU輸出(10億米ドル)



(出典 : COMESA COMSTAT Database)

(ウ) 複合的経済特区(MFEZ)における生産<sup>2</sup>

複合的経済特区は、輸出指向産業ならびに国内指向産業の双方のための特別な産業地帯である。同特区は、ZDA法で規定されている条件を満たす投資に対して、金銭的及び非金銭的インセンティブに加え、生産活動のためのインフラ整備の機会を提供する。

(4) 投資をする上でのリスク

- (ア) 貧弱な輸送手段とインフラ開発（但し、現在、8000 kmに及ぶ新規道路を建設中）
- (イ) 近隣国の非関税障壁
- (ウ) 外国為替レートの不安定性と外的な商品価格ショック（銅価格の変動）
- (エ) 輸入製品との競争（技術革新的な生産手段への投資することで、より競争力ある製品の国内で生産が可能になる）
- (オ) 規制枠組みの不確実性
- (カ) 長期融資に対するコスト高と限られたアクセス

(注) 上記情報は、ザンビア政策分析調査研究所（ZIPAR）から提供されたペーパーを当館限りでまとめたものです。ザンビアへの投資に関心を有する方々に参考情報を提供することを目的としたものであり、ザンビアでの投資の成功を保証するものではありませんので、予めご了承願います。

<sup>2</sup> 現在、ザンビア国内には、コッパーベルト州のチャンビン複合的経済特区、ルサカ州のルサカ東部複合的経済特区、ルサカ州のルサカ南部複合的経済特区、北西部州のルムワナ複合的経済特区が存在している。

### 【主要な組織と製造業における役割】

#### 商業貿易産業省 (Ministry of Commerce, Trade and Industry: MCTI)

商業貿易産業省は、産業や国内外の貿易、その他一般的な商業活動の成長促進を実施している。同省は、SADC や COMESA 等の地域経済共同体とのコンタクトや、他国との二国間貿易協定の交渉を行っている。

##### ●連絡先

電話番号: +260 211 228301/9

住所: New Government Complex, 8th, 9th and 10th Floors, Nasser Road, Lusaka.

ウェブサイト: <http://www.mcti.gov.zm>

#### ザンビア製造業組合 (Zambia Association of Manufacturers: ZAM)

ザンビア製造業組合は、ザンビアの製造業及び関連産業の利益を代表するビジネス団体である。同組合は、ザンビアの産業化を推し進めるべく、製造業界とザンビア政府の間の対話や関係強化に努めている。

##### ●連絡先

電話番号: +260 211 253696

住所: Stand No. 2374 Mopani Parade, Showgrounds, Lusaka.

ウェブサイト: [www.zam.co.zm](http://www.zam.co.zm)

#### ザンビア開発庁 (Zambia Development Agency: ZDA)

ザンビア開発庁は、投資促進や民営化、輸出促進、市場発展や零細中小企業の奨励に焦点をあてている。同庁は、優先セクターに投資をする事業主に対し投資インセンティブを付与することに加え、利用可能な投資機会に関する情報を提供する。

##### ●連絡先

電話番号: +260 211 252 288 / 253 640

Eメール: [info@zda.org.zm](mailto:info@zda.org.zm)

住所: Privatisation House, Nasser Road, Lusaka

ウェブサイト: <http://www.zda.org.zm>

#### ザンビア特許・会社登録庁 (Patents and Company Registration Agency: PACRA)

##### ●連絡先

電話番号: +260 211 255151/ 255127

Eメール: [pro@pacra.org.zm](mailto:pro@pacra.org.zm)

住所: Mwayi House, Haile Selassie Avenue, Longacres, Lusaka

ウェブサイト : <http://www.pacra.org.zm>

ザンビア商工会議所 (Zambia Chamber of Commerce and Industry : ZACCI)

●連絡先

電話番号 : +260 211 252 483

Eメール : [secretariat@zacci.co.zm](mailto:secretariat@zacci.co.zm)

住所 : Showgrounds, Lusaka

ウェブサイト : <http://www.zambiachamber.org>

ザンビア環境管理局 (Zambia Environmental Management Agency : ZEMA)

●連絡先

電話番号 : +260 211 254023/59

住所 : Corner of Church and Suez Roads, Plot No. 6975, Ridgeway, Lusaka.

ウェブサイト : <http://www.zema.org.zm>

ザンビア公的調達庁 (Zambia Public Procurement Agency : ZPPA)

●連絡先

電話番号 : +260 211 250632/ 250642

住所 : Red Cross House, Angeles Boulevard, Lusaka

ウェブサイト : <http://www.zppa.org.zm>

ザンビア国税庁 (Zambia Revenue Authority : ZRA)

●連絡先

電話番号 : +260 211 381111

Eメール : [advice@zra.org.zm](mailto:advice@zra.org.zm)

住所 : Kalambo Road, Lusaka

ウェブサイト : <https://www.zra.org.zm/>

【参考文献】

- ・ African Development Bank et al. (2014) African Economic Outlook 2014: Global Value Chains and Africa's Industrialisation
- ・ Bank of Zambia, et al. (2013) Foreign Private Investment and Investor Perceptions in Zambia, Lusaka: BOZ
- ・ Central Statistical office, (2013) Zambia Labour Force Survey 2012, Lusaka: CSO
- ・ Institute for Economics and Peace, Global Peace Index 2014

- Ministry of Finance (2014) 2013 Economic Report, Lusaka: MOF
- Ministry of Finance (2014) The Proposed 2015–2017 Medium Term Expenditure Framework And Policies For The 2015 Budget, Lusaka: MOF
- Zambia Development Agency (2014), Agro Processing Sector Profile, Lusaka: ZDA
- Zambia Development Agency (2014), Zambia Manufacturing Sector Profile, Lusaka: ZDA